

「生き抜く力」を育む保小中一貫教育

みんなで考えたい、子どものよりよい育ち① ～日南の子どもの課題～

日南町教育委員会では、各学期に1回、小中学校それぞれを訪問し、全ての先生の授業を参観したり、学校経営や授業づくり等についての意見交換を行ったりしています。6月15日（月）には日南中学校、6月30日（火）には日南小学校の学校訪問を、それぞれ実施しました。

授業の参観や学校経営についての意見交換等のほか、放課後には、それぞれ先生方全員と、学校課題を解決し、めざす子どもの姿を実現するための取り組みについて協議を行いました。興味深いことに、授業で見られた子どもたちの姿は小中学校で随分と違いますが、協議の中で出された子どもたちの課題には共通点がありました。大きく分けると、以下の2つになるようです。

- ① 自らの考えを表現するための言葉の力や他者とのコミュニケーション力が乏しい。
- ② 自ら課題を見つけて計画的に学習するなど、学習に主体的に取り組む態度や習慣が身についていない。

これらの課題は、長年にわたり日南の子どもたちの課題になっていることでもあります。先生方は子どもたちの学びや学校生活を充実させようと一生懸命考え、取り組んでおられますが、なかなか成果として表れてきていません。これらの課題を解決するには、学校教育の中だけでなく、幼少期からの家庭教育や社会教育等、様々な取り組みが必要だと考えられます。例えば、次にあげるような取り組みはいかがでしょう。

- 多くの本に触れさせるなどして文字や言葉への関心を高め、言葉の力をつけること
- 根気よく子どもの話を聞いて話すことへの意欲を高めること
- 様々な立場の人とふれあい、相手意識を持った良いコミュニケーションの仕方を経験させること
- 子どもたちの知的好奇心を喚起し、結果だけで評価するのではなく、目標に挑戦する姿勢や努力の過程をしっかりと認めてやること

それぞれの子どもによって実態も異なります。保護者のみなさんや地域のみなさんはどのように感じておられるでしょうか。



めざす子どもの姿を実現するために、どんな取り組みが必要か話し合いました。

